

研究所だより

第410号
2020年 1月 9日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015



“たこたこあがれ 風よくうけて 雲まであがれ 天まであがれ
絵凧に字凧 どちらも負けず 雲まであがれ 天まであがれ”

『たこのうた（凧の歌）』 1911（明治44）年 文部省唱歌



2020年 迎春

本年も宜しくお願い致します！

穏やかで、暖かった正月。暦の上では6日は「小寒」。この日から「寒の入り」となり、節分までが「寒の内」と呼ばれ、寒さが厳しくなります。インフルエンザも流行ってきますので健康に留意して過ごしましょう。

各校では3学期が始まり、子どもたちも先生方も目標を持ち、希望に燃え、やる気に満ちあふれているのではないのでしょうか。

＝授業の見方・教室の見方＝

（教育ジャーナル2020年 1月号）から

教師の指導言を考える その2

今回は、教師の指導言に関わることの中から、「発問後に教師が何をするか」及び「指示を減らすには」ということについて取り上げました。

今回は、「助言」をテーマに、その在り方等について考えていきます。

助言とは？

助言は、一般的に「助けになるような意見や言葉。または、それを言うこと」とされています。授業においては、そこに「評価を伴うもの」という特別な意味が加わります。

例えば、子供が間違った式で計算をしている場合、教師は、立式が合っているかを「評価」し、間違えていた場合には、「この場合は、『合わせていくつ』と問われていますね。そうすると、何算にしたらいいいのか？」というように、間違いに気づかせたり、それを正したりするような助言をするはずですが、

このように、ほとんどの場合、助言の前提として評価が伴います。つまり「助言」とは、適切な評価に基づいて、その子（もしくはクラス全体）に対して、助けとなるような言葉を掛けるという重要な教師の行為なのです。

そして、適切な助言をするためには、適切な評価が行われることが欠かせないのです。

なお、例外的に評価を伴わない助言もあります。例えば、前時までの活動の様子から想定される困難に対して、解決策をあらかじめ教えておく場合や、経験上、子供たちが間違いやすい活動場面について、「〇〇は××です。間違いやすいので注意しましょう」というように、子供たちがつまづく前に、注意喚起しておく場合などが考えられます。



助言の留意点

子供たちにとって「本当の意味での助けになる言葉」にするために、教師が留意すべき点として、以下が挙げられます。

1. 「ヒントを出す」という姿勢を崩さない。
2. 「選択肢」や「例」等を提示する。
3. 個別の対応なのか、クラス全体にする対応なのかを明確にする。
4. クラス全体に対する助言は、プラス面の評価をもとにする。

1及び2はいずれも「解決は子供たち自身でできる」ようにすることをねらっています。実際の教師からの助言内容は同様であったとしても、最終的に、「先生に助けてもらったけれど、最後は自分の力で解決できた！」という実感を持てた場合と、「自分だけで解決できず、最後は先生が解決してくれた」という場合では、子供の達成感が大きく異なります。それは、その後の自信や学びに向かう意欲等にも大きく影響していきます。

ですから、教師の助言は、あくまでも「ヒント」にとどめるべきなのです。同様に選択肢や具体例を示すことによって、子供たちがそこから自分なりに解決法を「学び取っていく」ようにすることで、「自分で解決した」という意識を持てるような工夫も重要です。

3は、改めて言うまでもないことかもしれませんが、クラス全体に対して助言すべきものと、特定の個人だけに必要な助言があり、その区別を明確にすべきということです。

4は、例えばクラスの多くの子が友達の発表を聞いていない、という評価をした場合に、聞いていない子を注意する言葉を発するのではなく、しっかり聞いている子を褒める言葉をクラス全体に対して発するということです。それにより、「聞いていない子」に、改善すべき点を自覚させるとともに、何を模範とすべきかを示す助言となるのです。



ー各校の特色ある取組ー

日本の文化を次世代に繋ぐ ～「地域の学校 地域が学校」家・学・社連携餅つき行事～

ーその１ー

研究協力校である三崎小学校では、『地域との連携・協働活動』を推進するために、田植え（米作り・収穫・餅つき大会）などの体験活動を通して山と川のつながり、地域の人々の暮らしを考え、児童の自立を目指す取組を行っています。12月24日（火）には地域・保護者の皆様にも参加していただき「全校餅つき大会」が開催されました。地域の方からご指導をいただきながら1年生から6年生まで全員で力いっぱい杵をふり、つきたての餅を丸めていきました。この大会を通して地域の方から「米の蒸し方、つき方、ちぎり方、丸め方」など伝え残したい知恵を授かりました。



「力を合わせて ペッタン ペッタン」



「気持ちを込めて
丸めて 丸めて」



ーその２ー

下ノ加江小学校では、放課後子ども教室主催による「餅つき」が12月26日（木）に行われました。地域の方に「もっと近くを持って。体重をかけてぐっと押す。」と教えてもらいながら子どもたちは力をこめて最初のねりの作業を行っていました。「ぐっと押す。ぐっと押す。」の声に合わせて、3人でリズムよく行っていました。あんこ入りのお餅の他に、黒砂糖入りのお餅もつきました。子どもたちは、うっすら色づき、ほんのり甘く、とてもやわらかい、つきたての砂糖餅を「美味しい。チーズみたい。のびるで。」と言いながらほおばっていました。ついたお餅は、「お鏡」にして職員室にもお供えされていました。



「3人でリズムよく」



「ちぎって 丸めて」
「甘くて 美味しいね」



～訂正とお詫び～

「研究所だより409号」（12月23日付け）でお知らせしておりました令和2年度小学校使用教科用図書採択結果について一部（算数、体育の出版会社）誤りがありましたので下記のように訂正させていただきます。

教科	国語		社会		算数	理科	生活	音楽
出版 会社	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽
	東書	東書	教出	帝国	東書	大日本	東書	教出

教科	図画工作	家庭	体育	外国語	道徳
出版 会社	図画工作	家庭	保健	英語	道徳
	日文	東書	学研	東書	廣済堂あかつき

※教科の年間指導計画を立てる際の資料が必要な先生は研究所までご連絡をください。

～お知らせ～



◇図書の紹介◇ ぜひご利用ください。

①学校教育・実践ライブラリ Vol.9
『 特別活動のアクティブ・ラーニング 』（ぎょうせい）

◇提出物について◇

ー市教研関係ー

○各部会

- * 事業実績報告書
- * 総括教研部会報告書
- * 研究集録原稿

1月27日（月）

○研究協力校

- * 研究集録原稿 1月27日（月）
- * 決算書・実績報告書 2月17日（月）

※各様式は研究所HPからダウンロード
してご利用ください。

- 各校（校内研究） 1月27日（月）
- へき地・複式研究会
（小学校部会・校長部会） 1月27日（月）

